

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎市宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

緑も日ごとに濃くなり 23 年度もはや 6 月を迎えます。学校では子どもたちの歓声が響き渡っていることと思います。東日本大震災の影響を受け学校給食も心配されましたが、多くの関係者のご尽力でまずは順調に始まりました。学校給食会も年度初めの諸会議や各委員会を例年どおりスタートいたしました。今年度も皆様のご理解ご協力をよろしくお願いたします。

平成 23 年度川崎市学校給食会の役員が次のように決まりましたのでお知らせいたします。

理事長	牧田 好央	学校給食会理事	
副理事長	渡邊 直美	学校教育部長	
専務理事	阪本 智子	向丘小学校長	
専務理事	沼田 正美	学校給食会事務長	
常務理事	吉田 勲	東小田小学校長	献立決定委員会委員長
常務理事	長谷川 淳	東生田小学校長	物資選定委員会委員長
常務理事	山本 妙子	県立保健福祉大教授	
常務理事	古川 雅子	市 P 協役員	
理事	藤原 淳子	大師小学校長	物資選定委員会副委員長
理事	榊原 誠	東小倉小学校長	物資選定委員
理事	保崎 万里	夢見ヶ崎小学校長	献立決定委員会副委員長
理事	中川 久資	大谷戸小学校長	物資選定委員
理事	廣田 郁子	下沼部小学校長	献立決定委員
理事	須田 昭雄	高津小学校長	献立決定委員
理事	岸 秀子	梶ヶ谷小学校長	物資選定委員
理事	鈴木 真優美	鷺沼小学校長	物資選定委員
理事	秋本 和子	南野川小学校長	献立決定委員
理事	矢野 君江	生田小学校長	献立決定委員
理事	輿水 邦夫	柿生小学校長	物資選定委員
理事	小出 敏之	千代ヶ丘小学校長	献立決定委員
理事	大越 ミドリ	市 P 協役員	物資選定委員
理事	小林 裕子	市 P 協役員	献立決定委員
監事	朝岡 寛彰	公認会計士	
監事	姉川 和氣士	虹ヶ丘小学校長	
監事	橋本 英之	小田小学校長	

新理事長あいさつ

今年度、藤田理事長の後を引き継いで理事長になりました牧田好央と申します。よろしくお願いたします。藤田力前理事長は、理事長職が常勤となった平成 20 年度から 3 年間理事長として、給食会の運営に大変ご尽力くださいました。心より感謝申し上げます。



平成 23 年度は 3 月 11 日の東日本大震災の影響で 4 月からの給食ができるのだろうか心配されましたが、様々な情報を基に川崎市教育委員会健康教育課の判断もあり、何とか通常通りの給食を実施することができました。学校給食は教育の一環として子どもたちの健やかな成長に大事な役割を担っております。市教委、学校、業者と緊密に連携して学校給食の円滑な運営を図り、安心安全な給食用食材の調達に努めて参りたいと思います。

また、給食会としては今年度公益法人への移行手続きという大きな課題があります。各方面のご協力を得ながら、沼田事務長を中心に公益法人の認定に向けた作業を進めて参ります。



献立決定委員会



物資選定委員会

学校給食会の事業

物資の調達幹旋事業

- ・幹旋物資代金の予約と支払い
- ・納品物資の品質、量目等の調査
- ・衛生検査

調査研究事業

- ・食品の安全に関する情報収集
- ・食品製造工場、生産地等の視察、調査
- ・関係協議会研究会等への参加

普及奨励事業

- ・広報誌「給食会だより」の発行
- ・新製品展示会等の開催
- ・学校給食教育研究協議会への助成等
- ・未収金対応の学校支援

給食会だより

（財）川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎市宮本町 6 番地（安田ビル 4 F）

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

雨に濡れたアジサイやアヤメの似合う季節です。学校では、晴れ間をぬってのプール学習ににぎやかなことと思います。今回は、物資選定委員会と新製品展示会の様子をお伝えしたいと思います。

物資選定委員会委員長 長谷川 淳理事（東生田小学校長）



「Aの食品の方が柔らかいけれど、給食の食材として調理することを考えるとDの方がいいかな？」
こんな会話をしながら、月ごとの給食物資の選定にあたっています。

月によってメンバーは代わりますが、地区代表（行政区7地区）の給食主任や栄養職員のみなさんが審査員となり、また物資選定オブザーバーとして地区の栄養職員の方々が毎月交代で参加されています。

一品ごとに辛みや甘さ、色合いやにおい、調理しやすい大きさや硬さなど献立をイメージしたり、調理のことを考えたりしながら選定しています。すべての食品を一噛み一噛みチェックし、地区ごとに相談しながらそれぞれの結果を点数化し、その合計で物資が決定されます。点数によっては再審査が行われる食品もあり、慎重を期して決定をしています。23年度も安全、安心、そして子どもたちが待ち望んでくれるような給食をめざしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

物資選定委員会の様子

審査方法などの確認



全品目の物資審査（料理室）



新製品展示会の様子

6月3日（金）、川崎市教育文化会館で開催されました。11の参加業者より45もの品目が、所狭しと展示されました。参加した栄養教諭や学校栄養職員のみなさんは新製品への関心も高く、業者からの説明に熱心に耳を傾けていました。アンケートも多数集まり、「子ども向きの味でおいしい。」「自校献立に使いたい。」などの声も寄せられました。今後の給食にとり入れるため、これらを使って献立の試作（新献立研究会）も予定されています。



給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

暑中お見舞い申し上げます。子どもたちは夏休みであっても、教職員の皆様にとっては研修会などで忙しい日々のことと存じます。今回は学校給食会の公益法人移行に向けまして、最近の動きをお伝えいたします。

この度の公益法人制度改革は、平成 20 年 12 月 1 日に関連する 3 法が施行されたことにより、実施段階に至っています。本財団も平成 21 年 6 月 23 日開催の理事会において「(財)川崎市学校給食会公益法人移行への方針」を決定し、その方針に基づき移行に向けた作業を進めています。

最初の評議員選定委員会 6月1日(水) 午前10時より 川崎市教育会館



選定委員 (順不同 敬称略)

- 白川 勝幸
- 新村 富喜子
- 牧田 好央
- 隈元 淳雄
- 宮嶋 普子

第2回 理事会 6月21日(火) 午前10時より 川崎市教育会館

第 2 号報告において「最初の評議員の選定委員会報告」が行われ、承認されました。なお、移行認定 3 件の協議のため、臨時の理事会を 7 月 19 日 (火) に開催することも決定いたしました。



第2回 評議員会 7月4日(月) 午前9時より 川崎市教育会館

第 4 号議案「公益法人移行に伴う定款変更案について」、第 5 号議案「公益法人移行に伴う役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則案について」、第 6 号議案「公益法人移行に伴う最初の理事長の選任について」を第 3 回理事会にかけることが可決され、また、第 6 号報告において「最初の評議員の選定委員会報告」が承認されました。



第3回 理事会 7月19日(火) 午後1時より 川崎市総合教育センター



第 6 号議案「公益法人移行に伴う定款変更案について」、第 7 号議案「公益法人移行に伴う役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則案について」、第 8 号議案「公益法人移行に伴う最初の理事長の選任について」が可決されました。

新しい定款案は、次の章と附則より構成されています。第 1 章 総則、第 2 章 目的及び事業、第 3 章 資産及び会計、第 4 章 評議員、第 5 章 評議員会、第 6 章 役員、第 7 章 理事会、第 8 章 定款の変更及び解散等、第 9 章 事務局、第 10 章 公告の方法、附則。

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎市宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

暑いが続いております。甲子園では連日熱戦が展開されています、教職員の皆様、少しはリフレッシュされていますか。今回は、献立決定委員会の様子をお伝えいたします。



献立決定委員会委員長 吉田 勲理事 (東小田小学校長)

毎月一回、翌々月の献立原案を地区代表の栄養職員(1名)、給食主任(2名)、給食調理員(1名)の、総勢 28 名(4 名×7 地区)で検討を行います。

最初に栄養職員より注意事項と共に 1 ヶ月分の献立原案と新献立の試食を含めて提示されます。特に献立原案では 1 日ごとのメニュー、カロリーや使用食材、調味料の分量等細かく提示されます。

その後、食材調達の関係から 3 地区 (A 地区→川崎・中原、B 地区→幸・多摩・麻生、C 地区→高津・宮前)に分かれて、組み合わせの検討に入ります。同じような献立や食材が続いていないか、作業工程上無理な組み合わせになっていないか等々、細かく意見交換が行われます。

最終的にこの委員会で決定されたものが、その後学校給食に出てくる運びとなります。

栄養職員の綿密な献立原案の提示、委員会での熱心な検討・意見交換、その後、献立に沿った物資選定委員会での決定等、たくさんの人・力が集まって安心・安全な給食が提供されています。理事としてこの会に参加しているいろいろな方の苦勞のもと、おいしい給食が提供されていることを知り、普段何気なく食べていた給食のありがたみを実感しました。

今年度も安心・安全、子どもたちの喜ぶ学校給食をめざしていききたいと思います。よろしくお願いいたします。

7/22 献立決定委員会の様子



栄養職員から献立原案の説明がありました。

5 かつおそぼろごはん(精白米70・80・90) 牛乳(新)夏おでん えだ豆	
湯	0.5
15 しょうが	1.3: けずり節 0.5
16 酒	0.8: 結びこんぶ 4
1 しょうゆ	4: こんにやく 20
19 砂糖	2: にんじん 22.2
3 かつおフレーク	30: 砂糖 1
5 にんじん	16.7: 塩 0.3
1 塩	しょうゆ 5
4 白いりごま	1: 揚げボール(冷) 15
	(たまねぎ・かじき)
	さつま揚げ(冷) 20
	とうがん 28.6
	うずら卵(水煮) 20
	えだ豆(冷) 40
	塩 0.4
	塩
671 kcal 27.4 g	

9月の新献立「夏おでん」の試食を行い、感想を交流しました。



- ・一口サイズの大きさだったので、食べやすい。また、配膳の時もどの子どもにも各種類がいきわたりやすい。
 - ・さっぱり味だがコクがあるのでおいしかった。 ・とうがんが柔らかく苦味もなく食べやすいと思った。
 - ・そぼろごはんとの組み合わせもよく、バランスのよい献立だと思う。
 - ・揚げボールはたまねぎの味がよくでていて、ふわっと甘い食感がある。
- ※「夏おでん」には、結びこんぶ、こんにやく、にんじん、揚げボール、さつま揚げ、とうがん(季節の野菜)、うずら卵が入っています。

3 地区 (A 地区→川崎・中原、B 地区→幸・多摩・麻生、C 地区→高津・宮前)に分かれて話し合いが行われ、要望や意見が出されました。

ちなみに、「夏おでん」はA地区が9月20日(火)、B地区が9月9日(金)、C地区が9月21日(水)です。お月見の行事食(てり焼きハンバーガー、牛乳、コンソメスープ、月見だんご)は、AB地区は9月12日(月)、C地区は9月9日(金)に登場します。



給食会だより

（財）川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎市宮本町 6 番地（安田ビル 4 F）

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

長い夏休みが終わり、子どもたちの歓声が教室や校庭に戻ってきていることと思います。学校給食会では 7 月 25,26 日に食品加工工場へ視察に行きましてので簡単にご報告いたします。

7月25日（月） 静岡県焼津市「カネギ東海フーズ(株)」

協力業者「(株)名給」

概要説明を受けた後、「かつおのやわらか煮」「かつお粗ほぐし」の製造工程を見学しました。髪の毛や衣服のほこりが混入しないようにきちんとした衛生チェックが行われていました。真空パックや金属探知機、攪拌機等の他は多くが手作業で行われており、目視検査や食品のチェックも確実になされていました。下の写真はその製造過程です。加工工程のち密さに圧倒されます。

（※統一献立で 23 年 6 月及び 9 月に使用する「かつおフレック」を作っている工場です。）



午後は、焼津港のかつおの水揚げの様子を視察しました。大量の冷凍かつおが船上から水揚げされ、ベルトコンベアーで流れる中での選別作業は壮観でした。



7月26日（火） 静岡県静岡市「伊藤食品(株)」

午後、富士市「長谷川農産」

協力業者「(株)野口食品」

概要説明を受けてから工場内の「ツナ製造ライン」を見学しました。原料まぐろは入荷後解凍され、頭や内臓を除去したものが 100℃で 2 時間半程蒸煮されます。下の写真は血合い肉を完全除去する「皮剥き」の工程です。従業員の正確で丁寧な作業や生産工程を目の当たりにしました。衛生チェックも厳重で衛生管理体制のきめ細かさも徹底していました。

（※統一献立で 23 年 9 月に使用する「まぐろ缶詰」を作っている工場です。）



午後は、富士市の「長谷川農産」のマッシュルームの生産現場を見学しました。オランダから最新栽培技術と設備を導入した生産場内は常に 17℃に保たれ、ほぼ毎日出荷されています。



【生長しているマッシュルーム】



【説明をしてくださる長谷川農産の方（写真中央）】

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎市宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

秋分の日も過ぎ、朝夕に涼しさを感じる頃になりました。学校では前期末に向けて何かと多忙な日々のご様子と存じます。今回は 10 月の献立からと、第 3 回評議員会の様子をお伝えいたします。

8月23日(火) 10月分献立決定委員会

試食では「ツナときのこのごはん」「中華スープ」をいただき、意見交流がありました。

ツナときのこのごはん

※20年10月以来、3年ぶりのメニューとなります。

- ・香ばしくて秋の雰囲気が出ている。
- ・子どもはツナが好きで、よく合うのではないかと。
- ・甘めでおいしい。
- ・歯ごたえも適度にあった。
- ・ツナの油はザルでこして取り除いてある。
- ・食材が別々だと苦手なものをはじいている子どももいるが、混ぜると一緒に食べられるのでよい。

中華スープ

- ・糸寒天が入っていることを子どもたちに知らせた方がいい。
- ・チンゲン菜の歯触りもいい。
- ・食材が同じような形になっているので食べやすい。
- ・肉が少なくすっきりしている。
- ・具だくさんで食感もいい。
- ・糸寒天はブームにもなっている食材なので、ちょうどよい。

以下の日の献立に登場します。



【(奥から)中華スープ、ツナときのこのごはん(右は混ぜたもの)】

	A地区 (川崎市・中原区)	B地区 (幸区・多摩区・麻生区)	C地区 (高津区・宮前区)
ツナときのこのごはん	10月26日(水)	10月18日(火)	10月19日(水)
中華スープ	10月25日(火)	10月11日(火)	10月26日(水)

9月9日(金) 第3回評議員会 川崎市教育会館 午前9時より

学校給食会の公益法人移行に向けまして、7月29日付の第35号で最初の評議員選定委員会(6/1)、第2回理事会(6/21)、第2回評議員会(7/4)、第3回理事会(7/19)についてご報告いたしましたが、第3回評議員会が次の内容で開催されましたのでお知らせいたします。

- 第7号議案 公益法人移行に伴う新理事及び監事の選任について
- 第7号報告 公益法人移行に伴う定款について
- 第8号報告 公益法人移行に伴う役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則について
- 第9号報告 公益法人移行に伴う最初の理事長について

第7号議案では6名の理事候補者と2名の監事候補者が提案され、可決されました。また、第7号報告、第8号報告、第9号報告についても、第3回理事会(7/19)の可決に続き、承認されました。

【議長の先生】

【評議員の先生方】



給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

北の国からは初雪、初冠雪といった便りも届く季節になりました。後期が始まり 3 週間ほどが過ぎましたが、学校では秋の諸行事に向けて何かとお忙しい頃かと存じます。今回は物資選定委員会の具体的資料の一部をご紹介します。

【10月13日(木)開催 11月分物資選定委員会より】

品名	献立名	写真	業者	配合内容割合 (%)
さつま揚げ	さつま揚げと冬野菜の煮物 川崎・中原 14日(月) 幸・多摩・麻生 1日(火) 高津・宮前 24日(木) しっぽくうどん 川崎・中原 29日(火) or 30日(水) 幸・多摩・麻生 9日(水) 高津・宮前 16日(水)		Ⓐ	すり身(いとより・たら)81.77 でん粉 8.18 砂糖 1.64 食塩 1.47 酵母エキス 0.40 AF-マンナン 4.09 ぶどう糖 2.45 菜種油微量
			B	すり身(いとより)42.00 すり身(たら)22.00 すり身(エ)20.00 でん粉 6.00 砂糖 3.00 食塩 2.00 大豆 1.20 みりん 1.80 酵母エキス 1.00 米油 1.00
冷凍 ゆでめん	しっぽくうどん 川崎・中原 29日(火) or 30日(水) 幸・多摩・麻生 9日(水) 高津・宮前 16日(水)		Ⓐ	小麦粉 37.4 食塩 0.3 水 62.3
			B	小麦粉 40.32 食塩 1.77 水 57.91
ハンバーグ	ハンバーガー 川崎・中原 21日(月) 幸・多摩・麻生 24日(木) 高津・宮前 22日(火)		B	豚肉 63.00 たまねぎ 21.00 パン粉 8.00 豚脂 4.00 ケチャップ 0.50 ウスター 0.50 砂糖 0.12 醤油 0.10 みりん 0.10 食塩 0.70 昆布エキス 0.08 加工でん粉 1.90
			C	豚肉 60.01 たまねぎ 21.75 パン粉 13.13 食塩 0.68 砂糖 0.82 醤油 0.56 でん粉 3.00 香辛料 0.05
			Ⓓ	豚肉 65.70 たまねぎ 20.20 食塩 0.50 砂糖 0.20 醤油 0.40 小麦でん粉 2.00 パン粉 7.60 トマトペースト 0.60 しょうが 0.20 香辛料 0.10 水 2.50
			E	豚肉 66.50 たまねぎ 24.28 食塩 0.63 砂糖 0.50 醤油 0.28 でん粉 1.25 豚脂 3.50 米粉 2.50 昆布だし 0.28 本みりん 0.28
E Ⓓ C B ※A業者は辞退				
りんご ジャム	食パン りんごジャム 川崎・中原 15日(火) 幸・多摩・麻生 21日(月) 高津・宮前 1日(火)		A	りんご 34.98 水飴 56.88 砂糖 7.86 ゲル化剤(ペクチン)0.18 クエン酸 0.07 酸化防止剤 0.03
			Ⓑ	りんご 31.8 水飴 54.4 砂糖 13.6 酸味料 0.2
大豆(水煮)	まぐろと大豆のみそがらめ 川崎・中原 4日(金) 幸・多摩・麻生 25日(金) 高津・宮前 11日(金)		A	大豆 99.2 食塩 0.8
			B	大豆 99.7 食塩 0.12 酸化防止剤 0.1 塩化カルシウム 0.08
			Ⓒ	大豆 35 水 65
Ⓒ B A				

第 34 号でもお伝えしましたように、地区代表の給食主任の先生方や栄養教諭・学校栄養職員の方々が、一品ごとに辛みや甘さ、色合いやにおい、調理しやすい大きさや硬さなど献立をイメージして選定しました。(○は選定された品です。)上記の他に、19 の品目について審査を行いました。

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

商店街から流れるクリスマスソングを耳にし、お節料理の広告を目にしますと一段と気ぜわしくなりそうです。多事多難の今年も早いもので師走を迎えます。今回は、川崎市 P T A 連絡協議会が主催し (学校給食会も後援)、生活習慣改善事業として行っています「食育推進コンテスト」審査会の様子と全国学校給食研究協議大会についてお知らせいたします。

第 3 回食育推進コンテスト 審査会

11 月 7 日 (月) 午後 2 時より 川崎市教育文化会館

実施要項の目的や主旨には、それぞれ「行政・企業・P T A が一体となって保護者へ食育環境の大切さについて啓発する。」「子どもの食育を再考する機会として行う。また、子どもたち自身や教職員から提案するお弁当を募集し、子どもを見守る人に食育に対し関心を持ってもらう。」と述べられています。今年度のコンテストには 425 作品が寄せられ、審査基準に沿って、審査が行われました。

子どもたちが家族のことを思い、食材や栄養のことを考えて一生懸命に作ったお弁当への気持ちが、写真やコメント、弁当作りのテーマから伝わってきます。後援団体である審査員の方々 (川崎市教育委員会・公益財団法人川崎市スポーツ協会・(財)川崎市学校給食会・セレサ川崎農業協同組合・(株)明治・川崎市 P T A 連絡協議会) も時間をかけ一点一点ていねいに見られ、各賞 (川崎市教育委員会賞・川崎市スポーツ協会会長賞・川崎市スポーツ協会努力賞・川崎市学校給食会理事長賞・J A セレサ川崎セレサモス賞・明治ザバス賞・川崎市 P T A 連絡協議会会長賞) を選んでいかれました。

表彰式は、12 月 23 日 (金・祝) 午前 9 時 30 分から「エポックなかはら」で行われます。終了後、神奈川県立保健福祉大学教授 鈴木志保子氏の講演 (演題「元気の源は食べることから!」～毎日の食事と活動から生活習慣を見直そう～) があります。



第 6 2 回全国学校給食研究協議大会 広島大会に参加して

事務長 沼田 正美

平成 23 年 11 月 8 日 (火)、9 日 (水) の 2 日間にわたって、広島国際会議場を会場に、第 6 2 回全国学校給食研究協議大会が開催されました。本給食会からは事務長が参加したほか、教育委員会からは健康教育課北村恵子課長補佐、栄養研究会から 2 名の学校栄養職員の方が参加されました。

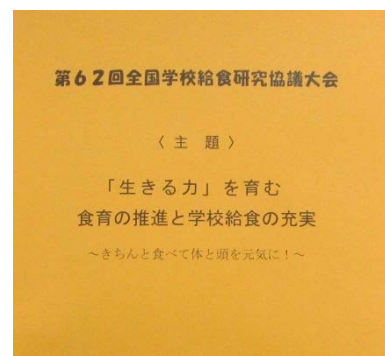
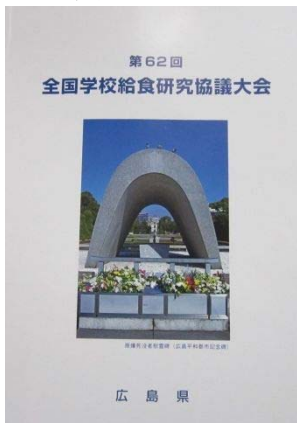
1 日目は全体会で、文部科学大臣表彰があり、給食に関する実践研究や活動に功績のあった 31 学校や 8 共同調理場、18 名の個人の先生方、2 団体が表彰されました。

文部科学省の説明では、食育プランに基づいた学校給食の推進の取り組みや概算要求について、実践発表は、広島市立皆実小学校の 3 人の先生から発表がありました。内容は、「学校教育全体で食育に取り組むことを通して」と題して、残食率の改善や地場産の食材を学校給食に活用するための方策として、すべての教職員の共通理解が必要であること、そのためには、各教科の授業や様々な機会を活用して、食に関する指導をきめ細かく行うことが大切であることが報告されました。

また、特別講演は早稲田大学総合研究機構の福岡秀興先生から、思春期における十分な栄養素の摂取が、一生の健康を作るための大切な時期であるというお話を伺いました。そういう意味では、学校給食が成長期における子どもたちの心身の育成にとって、重要な役割を担っていることを痛感し、安全・安心な食材の供給という学校給食会の業務の重要性を再認識しました。

2 日目は、分科会で第 9 分科会「安全かつ安心な食材の提供」に参加しました。この分科会は、各県の給食会が中心となり、日頃の活動や食材についての取り組み等を発表する場で、今回は、北海道、大分県、鹿児島県の給食会から研究発表がありました。地場産の給食食材の給食への取り組みや食品衛生検査による安心な食品の管理のお話など、各県の特徴や地域の特性を生かした独自の取り組みや研究について報告があり、大変興味深く伺うことができました。給食会の方々の努力とエネルギーに敬意を表するとともに、子どもたちの心身の育成に関わる重要な仕事として、尽力いただいていることに改めて感謝したいと思った大会となりました。

本給食会も川崎の子どもたちの成長に少しでも手助けができるよう、努めていきたいと思っております。これからもご協力をよろしくお願いいたします。



給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

冬至を迎え、今年も残りわずかとなって参りました。今回は、先日の全市校長会議の際（12月9日）、お伝えしました件について、一部掲載しましたので参考にしていただければ幸いです。

○3月末までに収入金額の確定を行うため、3月分送金書は、3月末までに提出を！！

・校内担当者の連携のうえ、準要保護や生活保護家庭の給食費等支給申請についても早めに行ってください。

【学校給食費送金書】

平成 年 月 日 振込

(財)川崎市学校給食会理事長 殿

川崎市立 小学校

校長 公印

担当者名

月分学校給食費送金書

納入金額 (8番の金額) 百位 千位 万位 円

鉛筆で記入し、完了した後2部複写し、うち1部に押印の上提出(1部は学校控)

○給食人員および給食費

給食人員	給食費	未納金額		今月納入金額
		人員	金額	
低学年 人員	円	円	円	円
当初人員 (人員+転出-欠席)				
転出-欠席				
転入-出席				
中学年 人員				
当初人員 (人員+転出-欠席)				
転出-欠席				
転入-出席				
高学年 人員				
当初人員 (人員+転出-欠席)				
転出-欠席				
転入-出席				
小計		A		①

(注) ・人員……一般・生保・準保分を含む

1. 前月送金書の未納分合計 (前月のB欄) 人 B のうち今月納入分 人 C

2. 未納分調整金 (一般と生保・準保との切替による内訳) 人 D

3. 今月末の未納分合計 (D欄が△のときは+する) 人 E (A+B-C±D)

4. 諸経費
 ・試食会 月 日 人×@240× 日間
 ・初任研修及び非常勤講師 人×@240× 日間
 ・その他 人×@240× 日間

5. 自校献立実施日経費 (低学年 人 @ ×220) + (中学年 人 @ ×230) + (高学年 人 @ ×240)

6. 調整金 (牛乳の飲めない児童 人×@42× 日間) その他

7. 過・不足金(事由)

8. 今月の納入金額合計 (①+②±③+④-⑤±⑥±⑦)

2011/12/08

○転出入者数および食数

	低学年				中学年				高学年			
	日	日	日	計	日	日	日	計	日	日	日	計
転出・欠席				② 人				③ 人				④ 人
市内学校名												
転入・出席				① 人				⑤ 人				⑥ 人
市内学校名												

(注) ・変更日……給食人員変更による変更日
 ・人員……市内、市外、欠席は欄をかえて記入。(枠内に内・外・欠と表示)
 ・食数……市内は、1ヶ月又は日、外・欠は早見表で記入
 ・市内学校名……市内転出入者の相手校の学校名を記入
 ・転出入者・出欠者が同一者のときは、一印で動きを示す
 ・一印先の人員は()とし計に加算しない

○自校献立日に、休止日を重ねないでください。

平成 24 年度給食実施回数予定表 (7/4 第 2 回評議員会 資料より)

給食実施回数 (183回) = 献立作成回数 (192回) - 休止日 (9回)

自校献立日は、4月26日(木) or 27日(金)、5月30日(水) or 31日(木)、
 6月28日(木) or 29日(金)、7月17日(火) or 18日(水)、
 9月27日(木) or 28日(金)、10月30日(火) or 31日(水)、
 11月29日(木) or 30日(金)、12月19日(水) or 20日(木)、
 1月30日(水) or 31日(木)、2月27日(水) or 28日(木)、
 3月13日(水) or 14日(木) の11回が予定されています。

この日に休止日を重ねないように調整してください。

統一献立回数 (172回) = 給食実施回数 (183回) - 自校献立回数 (11回)

○本給食会が、「公益法人への認定基準に適合する」との答申が出されました！！

本給食会では、平成 21 年 6 月の理事会にて公益法人移行の方向性を決定して以来、申請のための事務作業を行ってきました。本年 10 月 19 日に神奈川県知事あてに認定申請を行い、12 月 7 日開催の神奈川県公益認定等審議会に諮問された結果、認定基準に適合するとの答申が出されました。

今後、組織体制や諸規則等の整備を進め、平成 24 年 4 月 1 日の公益財団法人としての登記に向けて事務手続きを進めて参ります。

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442



(財)川崎市学校給食会理事長 牧田 好央

明けましておめでとうございます

本年もよろしくお祈りいたします

穏やかな新年の幕開けとなりました。平成 23 年は、3 月 11 日の東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故により、被災地はもちろんのこと日本全体が大きなダメージを受けました。放射能汚染の問題は、今もなお被災地の復興に大きな障害となっております。1 日も早い復興を願っております。

学校給食会では、大きな課題となっておりました公益法人への移行申請ですが、昨年 12 月 7 日の神奈川県公益認定等審議会において「公益認定が相当」との答申が県知事に出されました。給食会では、平成 24 年 4 月 1 日付での設立登記を予定しております。従って、平成 24 年度当初より正式名称が「公益財団法人川崎市学校給食会」となります。評議員会や理事会等の構成については大幅な変更が生じますが、「学校給食物資の調達」「学校からの給食費の予納を受け、物資代金の支払いをする」という給食会の基本的な事業は、大きく変わることはありません。給食会では「公益財団法人」としての使命と責任を自覚し、これまで以上安全・安心な給食物資の調達に事務局一丸となって努めてまいり所存です。本年も昨年同様に、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

平成 23 年度食育推進コンテスト表彰式・講演会 (主催 川崎市 P T A 連絡協議会)

平成 23 年 12 月 23 日 (金・祝)、エポックなかはら大会議室において、平成 23 年度食育推進コンテスト表彰式・講演会が開催されました。主催者の川崎市 P T A 連絡協議会会長 小原良氏のあいさつの後、川崎市教育委員会賞 1 名、川崎市スポーツ協会会長賞 2 名、川崎市スポーツ協会努力賞 3 名、川崎市学校給食会理事長賞 2 名、J A セレサ川崎セレサモス賞 2 名、明治ザバス賞 2 名、川崎市 P T A 連絡協議会会長賞 6 名の計 18 名の児童生徒・保護者・教職員の皆さんが表彰を受けました。本給食会・牧田好央理事長も小学生と高校生に賞状を渡しました。第 40 号でもお知らせしましたように、子どもたちが家族を思い栄養や食材を考えて作ったお弁当のコンテストで、425 点の中から選ばれました。



終了後、講師の神奈川県立保健福祉大学教授 鈴木志保子氏の講演会がありました。「元気の源は食べることから！」～毎日の食事と活動から生活習慣を見直そう～という演題でお話をされました。

1 年間で 1 k g 太ったらエネルギー量は 7,000 k cal 余計に摂取したものと考え、それを 1 日分に直すと約 20 k cal となるということです。つまり、消費したエネルギー量よりも食べて得たエネルギー量の方が 1 日に約 20 k cal 多かったという計算になります。みかん半分、チョコレート 1 かけ(約 4 g)、牛乳 30 cc などがその約 20 k cal にあたるそうです。一方、エネルギー消費量については、体重 60 k g の人が普通歩行 1 時間で 120 k cal、速歩行 1 時間で 180 k cal 消費することになるそうです。私たち大人にとっては気になる数字が次々と並びました。



最後に、「今日、やってみようと思ったことは、コツコツやってみましょう。やり始めたことは続けましょう。」という話で締めくくられました。

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

寒い日が続いています。温かい給食の時間は子どもたちにとってもほっとするひとときではないでしょうか。今回は、2月の新献立情報と学校給食教育研究協議会についてお知らせいたします。

2月分の献立決定委員会より 【12月16日(金)】

新献立の「ニョッキのホワイトソース」を試食しました。委員さんからは次のような感想が述べられました。

- ・ニョッキはもちもちとしたおもちのような食感がありました。
- ・ニョッキの黄色い色が鮮やかでした。
- ・かぼちゃのような感じもありました。
- ・チーズの味もよかったですし、パセリもよかったです。
- ・子どもたちにニョッキについての説明をしてあげるといいと思います。
- ・(「ホワイトソース」と「シチュー」の違いは?) ニョッキにホワイトソースをからめていることからのネーミングで、「シチュー」とは違います。



皮なし鶏肉、たまねぎ、にんじん、じゃがいも、チーズ、マッシュルーム、ニョッキ、ホールコーン、パセリが入っています。



2月分物資選定委員会(1月13日)の「冷凍ニョッキ」の配合内容割合表によれば、じゃがいも(48.9%)、かぼちゃ(12.7%)、小麦粉(26.6%)、いんげん豆ピューレ(4.8%)、食塩(0.5%)、寒天(0.4%)、加工でんぷん(3.6%)、水(2.5%)となっています。

以下の日に献立が登場します。

	A地区 (川崎市・中原区)	B地区 (幸区・多摩区・麻生区)	C地区 (高津区・宮前区)
「ニョッキの ホワイトソース」	2月21日(火)	2月13日(月)	2月22日(水)

第36回川崎市小学校学校給食教育研究協議会

1月18日(水)、会館とどろきにおいて、「学校給食の目的を達成するために、『食に関する指導』における諸問題を協議し、今後の指導の改善充実に資する。」を目的に、「学校給食を通して、望ましい食習慣と豊かな心の育成をめざして」を研究主題にして開催されました。(主催 川崎市立小学校特別活動研究会・川崎市立学校栄養研究会・(財)川崎市学校給食会)

研究発表では、川崎市立南生田小学校の有元晶子先生の「学校栄養職員とともにつくる食に関する指導」の実践が報告されました。「子どもたちに食に関する知識を教えるだけでなく、正しい食事のあり方や望ましい食習慣の形成に結びつけ、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送る基礎を培っていけるような指導の展開が必要」との指導方針のもと、学校教育活動全体の中に位置づけ、学級担任のみの指導だけでなく、学校栄養職員、養護教諭、給食調理員、地域や保護者と連携した学習活動を工夫されていました。



具体的な中学年の実践では「牛にゆうパワーで元気いっぱい」を題材に、事前アンケートで把握した子どもたちの実態に沿った展開の中に、学校栄養職員の牛乳の話が位置づけられました。

授業後は、家庭で保護者が記入するワークシートも活用し、牛乳や気をつけた食生活へ関心がいっそう高まるような実践報告でした。

【発表者 有元晶子教諭】

終了後、(株)明治スポーツプラザ 管理栄養士・健康運動指導士 阿部佐智恵氏の講演会がありました。「こどもの食事と運動のバランスについて」を演題に、「おとなのメタボ対策・ダイエット・美容・疲労回復」も含めたお話をされました。「健康な生活は、運動と食事と睡眠が土台です。」ということを中心に、食事、特にたんぱく質の効用について述べられました。「良質なたんぱく質を多く含む食品(肉、魚、卵、乳製品、大豆製品)を一食の中で摂ることが大切で、めん類に鶏肉や卵を加えたり、ツナやハムを調理したサラダにしたりして、簡単に工夫できるものでも習慣化が大事ですね。」という話もありました。

講演をお聞きし、いただいた資料を拝見していると、日頃の食生活がどうしても浮かんできて、少しでも改善できればという思いを新たにしました。

会場後方には授業の様子や新献立の写真も掲示され、日々の学校給食や子どもたちの楽しい雰囲気が伝わって参りました。



【カルシウムの量を表示した絵】



【講師 阿部佐智恵氏】

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

三寒四温、啓蟄と日に日に春が近づいて参ります。23 年度も残り一ヶ月となりました。今回は、第 4 回評議員会と第 4 回理事会のご報告をいたします。

第 4 回評議員会 2 月 7 日 (火) 9:00 川崎市教育会館

議案は次の通りです。

第 8 号議案 平成 24・25 年度学校給食用物資納入業者の選定について

第 9 号議案 平成 23 年度 給食会会計補正予算について

1. 物資会計補正予算について 2. 一般会計補正予算について

第 10 号議案 平成 24 年度事業計画について

収支予算について

1. 物資会計予算について 2. 一般会計予算について

3 つの議案とも可決されました。第 10 号議案の平成 24 年度事業計画では、「定款及び規則の定めるところに従い、川崎市教育委員会の指導助言を得て、本市学校給食の充実発展と円滑な運営を図る。」の基本方針のもと、具体的な事業内容や運営組織が示されました。

【評議員の校長先生方】



来年度から川崎市学校給食会が公益法人へ移行することに伴い、評議員会も今回のような形では最後となりました。長い間、ご理解とご協力をいただきました評議員の校長先生方、本当にありがとうございました。4 月からも、給食実施校の校長先生としての関わりは変わりありませんのでどうぞよろしくお願いたします。

第 4 回理事会 2 月 15 日 (水) 10:00 川崎市教育会館

議案は次の通りです。

第 9 号議案 平成 24・25 年度学校給食用物資納入業者の選定について

「納入業者の指定に関する要綱及び登録事務について」の「指定登録の意義」には、次のように記されています。「学校給食の円滑適正な運営を期するため、学校給食用物資の納入を業者からの申請を受けた事項について、給食会理事会において審査し、学校給食用物資納入業者としての適格者を決定し、指定するとともに給食会に登録する。」

これを受けて、第 4 回理事会では 2 年に一回の更新・新規登録にあたり、「川崎市学校給食用物資納入業者の指定に関する要綱」

「学校給食用物資納入業者指定登録基準」「川崎市学校給食用物資納入業者の協会の組織に関する要綱」に基づき、それぞれ申請のあった一般業者 19 業者、食肉組合 31 業者、青果協力会 33 業者、豆腐協力会 28 業者、玉子類協力会 7 業者について審査を行いました。指定書交付は 3 月 26 日 (月) の予定です。

なお、今年度最後の理事会 (第 5 回) も 3 月 26 日 (月) に開催されます。



【専務理事・常務理事・理事・監事の方々】

給食会だより

(財)川崎市学校給食会

〒 210-0004 川崎区宮本町 6 番地 (安田ビル 4 F)

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

平成 23 年度の学校給食も 3 月 15 日 (木) をもって終了しました。食材というテーマが今年度ほど、全国的にも大きな話題になった年ありませんでした。食の安全に向けて多くの関係者にご尽力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。そして、子どもたちと日々接し、充実した給食指導、給食調理に取り組んでいらっしゃる教職員の皆様に敬意を表したいと存じます。今回は、「給食物資検査・確認業務」についてお伝えいたします。

- 目的 安全かつ安心な給食を提供するために、学校給食用物資規格基準書に沿った給食物資の納入がなされているかの検査、確認、指導改善を行う。
- 内容 選定サンプル物資は、給食会で指定する。
献立が決定した時点で、毎月 3 品目程度を指定する。
各ブロック 2 校ずつ抽出し、計 6 校を対象とする。
 - ① 物資検査立ち合い業務 (物資選定委員会にサンプル物資納入時)
 - 物資選定委員会に提出されたサンプル物資の受け取り。
 - サンプル物資の納品状態の確認。
 - サンプルの調法状態の確認。
 - ② 学校納入物資の抜き取りチェック (学校への納入時の検査)
 - 納品状態の確認・・・形態、風袋、温度の確認
 - 抜き取り、回収・・・豚肉、鶏肉アドバイザーによる主観検査
 - ③ フォロー業務 (検査機関に持ち帰っての検査)
 - 国産品か輸入品かの分析・・・たけのこ水煮
 - 物資選定委員会時のサンプルと学校納入物資との品質検査
 - 鮮度状況の調査、確認・・・鮮度と消費期限
 - 内容配合表との比較検査・・・鶏肉のもも肉、むね肉の割合等
- 23 年度の検査指定物資
 - ・上豚肉 ・豚肩肉 ・上豚ひき肉 ・豚肉角切り ・鶏肉皮付き、皮なし
 - ・ハンバーグ ・コロケ ・たけのこ水煮 ・さわらフライ
- 学校にさせていただくこと
 - ・指定された物資の、学校へのおおよその納入時間、納入場所 (地区) の報告
 - ・検査機関から職員が来ることを給食調理員さんに周知
- 23 年度に協力していただいた学校・・・42 校 (22 年度は 24 校)

4 月 1 日から **公益財団法人 川崎市学校給食会** と名称が変わります。また、4 階フロアーの学校給食会の位置が次のように少し移動します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

